

大山忠作 [1922-2009] Oyama Chusaku



1922年 5月5日二本松市根崎に出生
 1943年 学徒出陣のため、東京美術学校（現東京芸術大学）
 日本画科繰上卒業
 1946年 台湾から復員後、第2回日展に《O先生》を出品し初入選、
 以来連続入選
 1952年 第8回日展《湖畔に立つ》で初特選
 1968年 第11回日展《岡潔先生像》で文部大臣賞受賞
 1973年 第4回日展出品作《五百羅漢》で第29回日本芸術院賞受賞
 1980年 成田山新勝寺光輪閣襖絵第1期「日月春秋」28面完成
 1986年 日本芸術院会員就任 1987年 二本松市名誉市民に推戴
 1992年 成田山新勝寺聖徳太子堂壁画
 「白鷺・蓮・桜・牡丹・菊・楓」6面完成
 2005年 日展会長就任
 2006年 文化勲章受章



1

折々の記録

秋冬の移ろいを捉えた作品をはじめ、草花、人物画（肖像画）、
 度々訪れた中国での風景など、大山が“日記のように、折々の
 記録として描きとどめた”写生、素描を中心に展示します。

〔小下図《みちのく残照》初展示〕

大山は素描について「山を見るだけのものはその山がどんな山
 であるか本当に知ることは